



教科名： シャシ整備A

2023年度

講義

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 2年 A巡

科目： 自動車整備

時限数： 15時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/21	松下
FY19	授業時数変更のため	2/13	菊池
FY20			
FY21			
FY22			
FY23			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科		2023年度 授業計画				
時期	2年A巡	単元	講義	教科名	シャシ整備A	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	二級自動車シャシ		発行日	2022/2/28新規
※ ※ ※	総時限 15時限		教科担 当	長井 一真	※ ● ■	
授業時間 24時間	小山 純			※ ● ■		
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース））						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士としてシャシ整備の実務経験がある教員によりシャシの構造・作動について指導する						
2. 教科の目的 （この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構造、作動を理解する。 ②動力伝達装置の整備、故障原因探求を理解する。 ③作動制限型デフレンシャルの構造、作動を理解し説明できる。						
3. 授業の到達目標 （何を理解し何が出来ようになるのか）						
①動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構成、部品名称、役割を理解し説明できる。 （プラネタリギヤ式/油圧制御式、電子制御式 C V T 式） ②動力伝達装置のオートマチックトランスミッションの構造、作動を理解し説明できる。 ③差動制限型デフレンシャルの構造、差動を理解し説明できる。 ④インタ・アクスル・デフレンシャルの構造、作動を理解し説明できる。 ⑤動力伝達装置の整備、故障原因探求を理解し説明できる。 （クラッチ、マニュアルトランスミッション含む。）						
4. 学習評価 （期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：（工学科70点以上・整備科60点以上） 工学科 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 整備科 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、工学科70点以上、整備科60点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により再評価を実施し、合格とみなす場合がある。 						
5. 準備学習						
・3級自動車シャシのテキストを復習しておくこと。						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
①マニュアル・トランスミッションのクラッチの性能を理解させる。 ②プラネタリギヤ式のオートマチック・トランスミッションの構造、作動を理解させる。 ③C V T 式のオートマチックトランスミッションの構造、作動を理解させる。 ④差動制限型デフレンシャルの役割、名称、構造、作動を理解させる。 ⑤インタ・アクスル・デフレンシャルの役割、名称、構造、作動を理解させる。 ⑥動力伝達装置の整備、故障原因探求を理解させる。						

